

## 第 1 期中期目標期間における評価結果

## 1 第 1 期中期目標期間における大項目評価

大項目	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度 (市案)	4年間 の評価 (市案)
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4	4	4	4	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4	4	4	4	4
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4	4	4	4	4
第4 その他業務運営に関する重要事項の目標を達成するためにとるべき措置	4	4	4	4	4

## (参考)

	5	4	3	2	1
大項目 評価基準	中期目標を大幅に上回り、特筆すべき達成状況にある。	中期目標を達成した。	中期目標をおおむね達成した。	中期目標を十分達成できていない。	中期目標を大幅に下回っている又は重大な改善すべき事項があった。

## 2 第1期中期目標期間の各事業年度における全体評価

年度	評価結果（全体評価）
<p>平成27年度 （平成26年度の実績評価）</p>	<p>全ての大項目評価において、「評価4 中期計画の実現に向けて、計画どおり進んでいる。」と判断したことを踏まえ、中期計画1年目となる平成26年度の業務実績に関する全体評価（総括）は、「中期計画の達成に向け、全体として計画どおり進んでいる。」とする。</p> <p>全体として、年度計画に定めたほとんどの事項はほぼ計画に沿った取組がされており、創意工夫して積極的に取り組まれているものも見られた。</p> <p>ただし、より一層の取組が期待される点もあり、京都市産業技術研究所においては、今回の評価結果を十分とすることなく、年度ごとの取組を強化し、更なる自己改革、自己改善に努められたい。</p>
<p>平成28年度 （平成27年度の実績評価）</p>	<p>中期計画2年目となる平成27年度の業務実績に関する全体評価（総括）は「中期計画の達成に向け、全体として計画どおり進んでいる。」とする。</p> <p>これは、大項目評価が全ての項目で「評価4 中期計画の実現に向けて、計画どおり進んでいる。」と判断されたためであるが、ほとんどの事項において、年度計画で定めた数値目標を上回る成果を挙げており、中には創意工夫して積極的に取り組まれているものも見られたことを勘案すると、全体評価は上記の表現以上に高いといえる。</p> <p>とりわけ、リグノ CNF（セルロースナノファイバー）強化樹脂を一貫製造できるテストプラントの完成に寄与したことは高く評価したい。今後も、引き続き関係機関とも連携して研究開発に精力的に取り組むとともに、地域の産業支援機関として、その成果を市内の中小企業へ波及させることが期待される。</p> <p>産技研は、平成28年度に創設100周年を迎える。これを機に、産技研においては、今回の評価結果に甘んじることなく更なる改革、改善に努められ、世界も視野に入れつつ、その独自の研究開発に邁進されるとともに、利用者目線を重視した情報発信を強化されることを期待したい。</p>

年度	評価結果（全体評価）
平成29年度 （平成28年度の実績評価）	<p>             中期計画3年目となる平成28年度の業務実績に関する全体評価（総括）は、「中期計画の達成に向け、全体として計画どおり進んでいる。」とする。           </p> <p>             これは、大項目評価が全ての項目で「評価4 中期計画の実現に向けて、計画どおり進んでいる。」と判断されたためであるが、全ての事項において、年度計画で定めた数値目標を達成する成果を挙げており、とりわけ、「戦略的な研究開発の推進」においては、バイオリイノベーション事業をはじめ、顕著な進展がみられる。           </p> <p>             一方で、「研究成果の普及と技術移転」に関しては、セルロースナノファイバーの実用化に向けて精進されているが、更に加速できるよう取り組んでいただきたい。また、情報発信の取組については、産技研創設100周年記念事業を契機として、活発に取り組まれたところであるが、目的に応じた効果的な手段を幅広く検討する等、更に強化されることを期待する。           </p>